



「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町」 人権啓発コーナー

今回は、平成27年度人権メッセージの優秀作品を紹介します。メッセージの内容は、今起きている人権問題に対してストップがかかるように啓発作品として紹介します。

「きづいてね 笑顔のおくの 悲しいキモチ」

作者は、「皆さんは人と接する中で嫌な思いを隠して、作り笑いをしていることはありませんか。私はそんな人に気づき、寄り添っていきたい。」という気持ちを込めています。

「ボタンを押す前に考えて、画面上のその言葉。ずっと残るよ、相手の心とネット上。止められるのは、自分だけ。」

作者は、「SNSなどで、例え悪ふざけだとしても決して言うてはいけない言葉があると思います。相手の立場に立つて傷つけてしまわないかを考えて、発信していきたい」という気持ちを込めています。

全国的にいじめの件数が増加傾向にあります。

「嫌なことを言われても笑顔で返していた。」という子どもの声を聞きます。心の中では大変いやな気持ちになり、これが過度になると生命・心身に大きな被害を受けるなど重大事態に発展します。また、SNSは、発信する側の一方的な考えと行動で操作できます。

止められるのは、本当に自分だけです。

第7回子ども人権教室(ワオクラブ)活動

11月7日(土)に第7回子ども人権教室(ワオクラブ)を開催し、町内の小学生18人が万華鏡作りを行いました。

万華鏡は、スコットランドの物理学者のデビットブリュスター氏が1816年に発明し、日本には1819年に伝わりました。万華鏡は、丸い筒に鏡を入れ、筒の片方に見るための穴を開け、もう片方は光をたくさん入れるように開けます。3枚の鏡の中に色の付いた物を入れ、筒をくるくる回しながら見ると、世界に1つしかない自分だけのデザイン画のようです。

さて、万華鏡には人の気持ちを前向きに、明るくする力があります。

仲良く過ごしていた家族の1人が亡くなり、残された家族が悲しみに陥っていたのをみかねた友人が、万華鏡をその家族に渡したところ、万華鏡を見て気持ちが明るくなって元気になった、という昔話もあります。

子どもたちは作り上げた後、万華鏡の中に入れる物の数や形を変えたりして楽しんでいました。



生涯学習課 生涯学習係 ☎0965-52-5860

八火図書館 だより

新着図書

一般書	児童書
「繊細さん」の本 武田友紀/著	カレーのおうさま 山本祐司/作
警察の階級 古野まほろ/著	つるかめつるかめ 中脇初枝/文
もっこすの城 伊東潤/著	ココロ屋つむぎのなやみ 梨屋アリエ/作
絵ことば又兵衛 谷津矢車/著	こんにちにはわたしのえ はたこうしろう/作
日本のデザイン1945- ナオミ・ポロック/編	いろんなくらし スタジオジブリ/監

【お問い合わせ先】 八火図書館 ☎0965-62-3489

図書除菌機を設置しました

八火図書館と竜北歴史資料館図書室に、1台ずつ図書除菌機を設置しました。この除菌機は、本の下からファンで風を送り、ページを開いた状態で紫外線を当てることで、除菌・消臭を行うものです。これまで図書館では、返却本の表紙をアルコールで拭いて除菌を行っていましたが、さらに安心してご利用いただけるようになりました。

リサイクルフェアを開催します

資源の有効活用を図るため、図書館で役目を終えた本や雑誌を無償で皆様にお譲りいたします。期間は12月1日(火)からの2週間で、本がなくなり次第終了します。詳しくはお問合せください。

立神峡だより

コロナの影響でキャンプブーム到来

最近では、コロナの影響もあり、キャンプに人気が出てきています。特に、「ソロキャンプ」や「キャンプ女子」といった名前に象徴されるように、週末の予約の約80%はソロキャンプや女子だけのキャンプです。

また、焚火の炎を見るだけのために、ディキャンプで昼から1日中、焚火に癒しを求める人が増えています。コロナの影響で、野外に郊外にとその輪は広がりを見せており、大自然に囲まれた渓谷美の立神峡は、まさにうってつけの場所と言えます。

これから、秋の紅葉が深まる季節となり、キャンパーが増えて、春夏秋冬の賑わう立神峡を目指したいと思う今日この頃です。



椎の木の大木を伐採 危険性の除去

立神峡をご存知のとおり、自然豊かな樹木が茂り、森林浴も楽しめる場所でもあります。

しかしながら、ある日突然、椎の木の大木が近くの東屋に倒れてきました。幸い、東屋は倒壊を免れましたが、周辺にも倒れそうな椎の木があったので、町と協議して伐採してもらうことにしました。

10月31日(土)に、業者により作業が進められ、無事伐採が完了しました。その木は、薪割りをしてキャンプの薪として活用します。また、細かい木はチップーにより粉砕して、カブトムシの養生床として活用します。

伐採により、駐車場からの視界が開けたことで岩壁の眺めも最高です。放置していれば危害を及ぼす恐れがあり、迅速に対処して頂いた町に紙上をお借りして感謝します。



ログハウスがリニューアルオープン

立神峡にはログハウスが3棟(健・根・信)、ロッジが2棟(桜・梨)、里地屋敷があり、毎年、県内外から多くの観光客が宿泊されます。

年々、施設も老朽化しているため、設備更新を計画的にしながら、維持管理に努めています。しかし、大規模な補修となると、やはり行政の力がが必要です。これまで、里地屋敷・ふくろう館・ログハウス信と外観塗装をして頂き、見違えるほど綺麗になりました。そして、今回はログハウス根のお色直しをしてリニューアルオープンとなりました。

皆さまのご利用をお待ちしています。



【お問い合わせ先】 立神峡公園管理棟
☎ 0965-62-1543 FAX0965-62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

